

2018年  
新春座談会

## あなたの描く 裾野の未来予想図

～シビックプライドが溢れるまち～

現在、当市では、第4次総合計画後期基本計画のもと施策を展開しています。この計画では、まち・ひと・しごと創生のキーワードを「富士山の裾野 田園未来都市 すその」の挑戦としています。

市民の皆さんが描く「未来の裾野」はどのようなものなのか。それを実現するためには、自分たちには何ができるのか、行政に必要とされていることは何なのか。裾野の歴史を知る方、裾野を発展させる方、未来の裾野市を担う高校生で、思い思いに語り合ってもらいました。

### 座談会参加者

(順不同・敬称略)



#### ● 田口 建一さん (富沢)

田口ライフサービス代表取締役社長  
市文化財保護審議委員  
西地区青少年育成連絡会会長  
西地区アーカイブ主宰  
ごみ減量推進委員・理事

#### ● 野村 由希さん (三島市)

株式会社 Breams 代表取締役  
機能訓練施設 East-one 運営  
ひだまり保育園「hagu」代表  
元市総合計画審議会委員

#### ● 國里 愛音さん (今里)

県立裾野高等学校生徒会前期副会長  
ボランティア部

#### ● 田村 幹弥さん (沼津市)

県立裾野高等学校生徒会補佐  
剣道部

#### ● 高村 謙二

裾野市長



## 裾野のいいところ 水の恵みと自然豊かな田舎

**市長** ▶ まずは、順番に裾野の好きなところの話しを交えながら、自身のことをお話してください。

**田口** ▶ 私は、文化財保護審議委員をしている田口建一と申します。やはり、裾野が日本に誇れるというのは深良用水。深良用水については、皆さん学校で勉強していますが、歴史的な貴重さが伝わっていないところがあります。

**市長** ▶ 深良用水は裾野の代表的な名所ですね。

**田口** ▶ 最近ちょっとお気に入りなのが、岩波駅から2分の岩波溪谷。普通、溪谷などの観光地は、山奥ですよ。岩波溪谷は、“駅から2分で行ける溪谷”というのが売りになるのではないかと思います。今、近くにホテルを建設しているので、護岸の木が切られました。そこには「ポットホール」といって、川から流れてきた石が岩盤の上をぐるぐる回ってできた臼のような丸い穴があります。何万年もかかってできたものです。



岩波溪谷

**國里・田村** ▶ 見たことないです。

**市長** ▶ いわなみキッチンという、経済やビジネスなどを勉強したい人が集まってわいわいやるところがあります。そこからよく見えますよ。では、次は野村さん。

**野村** ▶ 私は、15年前、23歳のときに裾野に来ました。京都市出身です。小学生と中学生の子どもがいます。

**國里** ▶ 大好きです、京都。

**野村** ▶ 大好きですか。良かったです。富士山を見る機会が少なかったのが、裾野に来て、富士山がきれいなまちだなと思いました。住んでいてすばらしいなと思ったのは、水が冷たくて、とにかくおいしい。これが1番自慢できることです。

**市長** ▶ 富士の麓の水。おいしいですよ。

**野村** ▶ 深良用水の話がありましたが、富士山の地下水

もあり、水が豊富なまちですね。両親などに裾野の水道水を飲んでもらいました。「うわっ、おいしい」と言って、ペットボトルに入れて持って帰りましたよ。



**國里** ▶ 他県では、あまり水道水は飲まないと聞きますよね。

**田口** ▶ 全国的に、水道の蛇口から直接水を飲めるまちの方が少ないみたいです。

**市長** ▶ 國里さんは、市外に住んでいましたよね。

**國里** ▶ はい。生まれは裾野です。小学1年生まで裾野で、それから中学3年生までは沼津に住んでいました。今は裾野に戻ってきましたが、沼津にいた間も週末は、裾野のおばあちゃんの家によく来ていました。

**田口** ▶ 沼津に比べて裾野がどんなところなのか聞きたいですね。

**國里** ▶ 沼津は、東京寄りではないですが、裾野よりちょっと都会だと思います。だから、車が多く、繁華街はうるさいです。裾野は沼津より田舎だからか静かで良いのです。

**市長** ▶ その代わり、ゲロゲロとカエルがうるさいですけどね。

**野村** ▶ カエルは、水がきれいだからたくさんいるのでしょうか。自然豊かということですよ。

**市長** ▶ カエルの声も自然豊かと言っただけだと嬉しいですよ。

**國里** ▶ 「田舎だから都会に出たい」という学生もいますよね。私は逆です。裾野から出たくないと思っています。今、高校では会計系列で勉強しています。将来、税理士になる夢があり、簿記の勉強を頑張っています。

**野村** ▶ 私も簿記の資格をとりました。商業関係の高校でしたが、情報処理や流通経済など学んだことが仕事で生きています。高校生のうちに日商簿記がとれたら将来有効だと思います。裾野高校の会計系列は強みになるのではないのでしょうか。

**田口** ▶ 実は、私も裾野高校出身です。

**野村** ▶ そうですか。

**田口** ▶ 私の時代には、普通科と商業科がありました。今は総合科になったとはいえ、昔の裾野高校のDNAがあるので商業の強みがあるかもしれません。



**市長**▶ 國里さん、学校の強みを生かして、勉強頑張ってください。

**國里**▶ はい。

**田村**▶ 私は、沼津市民です。沼津の、どちらかという  
と田舎の方、香貫山の近くに住んでいます。小さい  
頃から自然の中で虫を捕まえています。

**田口**▶ 香貫には、結構虫がいそうですね。

**田村**▶ はい。タヌキもいますよ。イノシシも。

**田口**▶ 裾野と同じような場所ですね。

**田村**▶ はい。裾野高校に通い始めて、裾野は何もない  
まちだという印象でした。でも、山がたくさんあっ  
て、自然が多くていいところだなと思っています。



田村さん

夏に、市主催のみらい  
会議に出席したの  
ですが、裾野駅から  
生涯学習センターま  
で歩きました。道に  
迷ってしまったので  
すが、田んぼもたく  
さんありました。

**市長**▶ 田村さんは、将来何を目標していますか。

**田村**▶ 私は、警察官を目指しています。剣道部で、体  
力づくりに励んでいます。

**野村**▶ 未来が明るいですね。こんな好青年が警察官を  
目指してくれて。高校1年生で目標がしっかり決  
まっているというのは素晴らしいです。

**市長**▶ では、最後に私。裾野市長を務めています。私  
が裾野で自慢したいことは、人の温かさです。昔も  
今も温かい心を持った人で溢れています。

**野村**▶ 私もそう思います。裾野には親切な人が多いと  
思います。女性が仕事を全うしても、温かく見守っ  
たり、協力したりしてくれる人がたくさんいると思  
い、この地で起業することを決めました。

**市長**▶ そうでしたか。

**野村**▶ 女性は、人生の中で2回、ターニングポイント  
があると思います。1回目が結婚するとき、2回目  
が出産するときです。

**市長**▶ 出産は女性にしかならないことですね。

**野村**▶ 昔と比べて、今は女性が活躍できる時代になり  
ました。2回のターニングポイントを生かして、女  
性が今まで自分の中で持っていた知識や技術を出  
す場、活躍する場を見つけられます。私は、出産を終

えて会社を立ち上げ、介護福祉施設の運営を始めま  
した。子どもを産んでも働きたいという女性を輝か  
せたいと思っていました。女性を輝かせることは私  
の人生の目的であり、仲間づくりでもあります。女  
性が元気なまちは、市町としても元気なところが多  
いのではないかと思います。

**市長**▶ 確かに、そうかもしれません。

## 人の温かさ溢れる裾野 元気なまちに

**市長**▶ 野村さんのように、起業し、裾野を発展させて  
くださる方がいてありがたく思います。例えば、働  
く女性が必要なときに子どもを預けられるようにす  
るなど、女性が働きやすい環境づくりができれば良  
いと思っています。

**野村**▶ 私の会社で働いているのは、大半が子育て中  
のお母さんです。

**市長**▶ お母さんたちの子育てをどのようにサポートし  
ていますか。

**野村**▶ 保育園に預けている方が多いです。子どもが体  
調を崩し、急に仕事を休まなければならなくなった  
ときに「大丈夫。私の子どもは元気に保育園行って  
いるから、代わりにやるよ」と協力し合う精神で成  
り立っています。参観日など学校行事のときもお互  
い様です。

**市長**▶ 困ったときは、お互い様ですね。

**田村**▶ 生徒会でも同じです。

**國里**▶ 地域でも経験  
があります。叔父  
が畑をやっていま  
すが、出荷できな  
いけれど食べられ  
るものなどは、近  
所の方に分けてい  
ます。もらうこと  
もあります。



國里さん

**市長**▶ 良い地域ですね。

**國里**▶ 子育ての面ですと、お母さんが忙しいときは、  
近所のおばあちゃんが面倒を見てくれたり、同じ小  
学校のお母さんが「うちの子と遊んでいなよ」と言っ  
てくれたりして、助け合っています。

**野村**▶ 地域の力ですね。最近、技術が発展してロボッ



トが出ていますが、ロボットではできないことですよ。人の温かさとか、心とか、そういうものは作ることができません。裾野にこれらを残すことが、日本の財産になると思います。

**國里** ▶ 私もそう思います。

**市長** ▶ 大切に残していかなければいけませんね。

### 知って欲しい裾野のむかし 若者の力で未来にもにぎわいを

**市長** ▶ 『ふりかえる裾野』をご存じですか。市公式ウェブサイトで公開されています。

**田口** ▶ 私の祖父の弟が、裾野町役場に勤めている際に写真を撮っていました。その写真で『広報すその』に連載していたのですよ。祖父の弟が亡くなり、ネガフィルムを市に寄贈しました。それをデジタルデータ化してもらい、市民の皆さんに見てもらえるようになりました。

**市長** ▶ 裾野の歴史を伝える、貴重な資料をありがとうございます。

**田口** ▶ 古文書に、昔こんなことがあったと書かれていても、イメージがなかなか湧かないと思います。写真があって「これが昭和30年代の裾野高校のグラウンドだよ」と言えば、びっくりするし、イメージも湧きませんか。



**國里** ▶ これが、裾野高校のグラウンドですか。

**田口** ▶ これらの写真を展示したりできたら良いですね。

**野村** ▶ ウェブサイトで拝見しました。美人な方が多いなと思いました。

**田口** ▶ 当時、役場に広報課がなかったので、祖父の弟は趣味で写真を撮っていたものもあるのですよ。モデルさんが入っているものもあります。

**田村** ▶ 裾野に美人は多いのかなと期待していました。

**市長** ▶ 美人は多いです。(笑)

**野村** ▶ 美人の湯という「ヘルシーパーク裾野」があるくらいですからね。

**田口** ▶ 昔は商店街にもにぎわいがありましたね。活気が感じられる写真が多いです。

**市長** ▶ 今は人通りが少なく、活気が落ちてしまっているようです。裾野高校の皆さん、活気を取り戻す提案はありませんか。

**田村** ▶ ファイゴンを活用してはどうでしょうか。裾野高校は、ファイゴンサブレとファイゴンまんじゅうを販売しています。

**國里** ▶ ファイゴンサブレは、ボランティア部が1回のイベントで平均100箱くらい売っています。多いときは、200箱以上売れることもあります。

**市長** ▶ すごいですね。その勢いで、商店街の皆さんと裾野駅周辺を元気にするようなプロジェクトを計画していただけると嬉しいです。

**田口** ▶ すその駅前中央商店街に、明治時代に建てられた昔の商屋づくりの味のある建物があります。もったいないので裾野高校の皆さんに有効活用してほしいですね。

**國里** ▶ やってみたいです。

**田口** ▶ 建物が古いので耐震性の問題や下水道に接続されていないトイレの問題などがあり、なかなか貸し借りが難しい状況ですが、夏休みや阿波おどり大会開催時など、期間限定なら実現できると思います。

**國里** ▶ 検討してみます。商業高校の真似ではないですが、「会計系列」ということを有効活用して、観光協会だけでなく企業と連携して何か商品販売できたら良いですね。私たちも貴重な経験になります。学校の紹介ができて、まちの活性化につながって、一石二鳥ですね。

**市長** ▶ 市内で開催されているマルシェなどにも裾野高校の皆さんに参加していただけると盛り上がりますね。

**田村** ▶ 良いですね。ファイゴンも連れて行きたいです。

**野村** ▶ 楽しみにしています。



## 裾野にあったらいい でも、実現するにはどうしたら……

**田村**▶学校から帰るとき、電車に乗るまでに時間が空くことがあります。そういうときに友達と寄れるところがあると嬉しいです。

**市長**▶今の高校生の“遊び”って、何でしょうか。

**田村**▶私は釣りが好きですね。釣りができるところと映画館が欲しいです。

**市長**▶釣りはありますよ。富沢に管理釣り場があるのは知っていますか。

**田村**▶あるのですか。

**田村**▶うちのすぐ近くにあります。西日本の管理釣り場で一番人気だと聞きました。

**田村**▶今度行ってみます。

**市長**▶映画館は昔ありましたが、なくなってしまいましたね。

**田村**▶私が4・5歳くらいのころ、2軒ありましたよ。

**市長**▶國里さんは何かあったらいいなと思うものがありますか。

**國里**▶交通の便がよくなるといいですね。学校にはバスで通っていますが、バスの運行本数や時間の間隔が適度にあると良いです。生徒会などの仕事で帰りが遅くなると、ちょうどいい時間にバスがないことが多くて、親に車で迎えに来てもらわないといけません。

**市長**▶車社会になっていて、車がないと不便だからみんな車に乗っています。車があるとバスに乗らなくなってしまいます。そうするとバスの運行本数が減ってしまうなど悪循環が起きていますね。

**田村**▶確かに、子どもの頃は自家用車が多くない時代だったのでよくバスに乗りました。運行本数も多かったと思います。

**市長**▶各地区の拠点をどう結んでいくか課題になっています。バスという公共交通が厳しい時代になって

いるので、送迎サービスなどのビジネスや制度と人の優しさを結びつけられたらと思います。



高村市長

**野村**▶では、私たち起業家に何ができるかですね。

**市長**▶よろしく願います。

**野村**▶裾野でと考えると、温かい人がいる温かいまちなので…例えば、会社の広告が掲載されたバスを走らせます。会社の宣伝ができますね。それに乗りたいお年寄りがキュウリを持ってきて「須山までお願い」と。「運行代キュウリね、オッケー」のような感じで、物々交換をするものです。

**田村**▶そういう発想おもしろいですね。

**野村**▶法律など制約があるので実現できるかは分かりませんが、お礼の意味でお菓子を渡すことがありますよね。同じように「乗せてくれてありがとう」と自宅で採れたものなどを渡すような仕組みができたらいいですよね。すみません、ふざけたような例えで……。



野村さん

**市長**▶いえいえ、それくらいの発想でないと解決が難しい問題ですから。温かい心の仕組みですね。

**野村**▶田村さんが「映画館が欲しい」と言っていたが、飲食店にスクリーンを設置して上映会をやってみたらどうでしょう。これも、お礼に300円もらうなどの仕組みを作るんです。子どもに何かもらうにはお金を払う必要があることを教えることもできます。お金なしでは起業できません。そういうまちづくりイベントを高校生主体でやるのもおもしろいと思います。

**國里**▶おもしろそうです。

**田村**▶「裾野には何も無い」と言う方がたくさんいますが、あることを知って欲しいです。例えば、深良用水は日本のトンネルの歴史の中では、最初にできた本格的なトンネルです。

**田村**▶すごいですね。

**田村**▶そういうことを知っていれば、まちに誇りを持ってませんか。大学に行くために一度地元を離れても、自分のまちに誇りを持っていれば帰って来るのではないかと思います。皆さんがまちに誇りを持てるよう、歴史を知る手助けをしたいと思います。

## 若者・よそ者も一緒にまちづくり みんなにとって良いまちを

**市長**▶ 昨年10月、裾野高校とはさまざまな協力関係を築くための協定を締結しました。これから一緒に考え、実現していく力を貸してください。

**國里**▶ 裾野高校は裾野で唯一の県立高校です。まちの活性化や駅周辺の活性化などにどんどん活用していただきたいです。

**田口**▶ まちづくりは、若者やよそ者からといますからね。

**市長**▶ 最近、マルシェなどを企画して人の交流の場を作って、にぎわいをつくってくれる方々が増えました。

**田口**▶ イベントが増えましたよね。楽しませてもらっています。

**市長**▶ 裾野には、皆さんのようにチャレンジしてくれる人がたくさんいます。生徒会でもビジネスでも文化の振興でも良いのですが、皆さんがやりたいことをやりたい時にやりたいようにできるように応援していきたいと思います。それぞれの考えをどんどん出していただき、皆さんの力で裾野を元気にしていただければ幸いです。裾野の良いところを知っていただき、ふるさとへの愛着や誇りを醸成して、温かい市民の皆さんのつながりで、色んな課題が解決されていくようなまちを皆さんと共につくっていききたいと思います。



## みんなが誇る豊かな すそのをつくる

年頭あいさつ

裾野市長  
高村 謙二

明けましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新春を健やかにお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

裾野市の未来、「みんなが誇る豊かな すその」を実現するためには、市民の皆さまが裾野市に住んで良かった、住み続けたいという価値を見出していただくことが必要です。

そのためには、「富士山の裾野 田園未来都市すその」の挑戦として当市の将来を描く「裾野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「第4次裾野市総合計画後期基本計画」に掲げる「まちづくりの種」をまき、具体的に施策を実現するための事業を着実に展開し、成果を積み重ねていく必要があります。

もちろん、まちづくりの種は、すぐに花が咲き、実を結ぶものばかりではありませんが、全体としては、いよいよ各計画や施策に掲げる目標に向かって、具体的な動きを加速している段階にあります。

今後、裾野市の眠れる資源の有効活用を図る「あるもの磨き」と市民協働・戦略的情報発信・広域連携によるまちづくりの視点に立って、子どもからお年寄りまで誰もが健やかに生き生きと成長・暮らすことのできる「ひとづくり」、裾野に住みたい・住み続けたい希望に応える「まちづくり」、あるもの磨きの新産業創出による「しごとづくり」に取り組み、多くの市民の皆さまが「このまちを誇りに思う」、そして「自分がまちづくりに貢献している」といった気持ち（シビックプライド）を持っていただけるよう、市民の皆さまとともに「オール裾野市」で一つ一つ課題を克服し、「みんなが誇る豊かな すその」の実現に向けて挑戦してまいります。

結びに、今年一年、皆さまのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさついたします。